

平成26年度市政懇談会(北有馬・南有馬地区)会議録

■期日 10月30日(木) ■場所 北有馬保健センター ■参加者 26人

1. 交通、世界遺産

【意見】

- ① 口之津港の茂木航路の話ですが、船の維持にはお金がかかる。加津佐や口之津は人口が減っており、乗客の増加は見込めないのにとんでもない話。それより人口減少問題に取り組むべき。西海市や島原市では市議が声を上げている。道路を愛野までつくるべきだと思うが、議会でもそんな質問はないようだ。県議に聞いたら愛野～小浜間の道路を要望しているとのこと。道路ができれば企業誘致にも有利。大村も東彼杵も道路があるから企業が来る。国道251号線(南串～加津佐)は雨が降ったら崩れて通行止めになる。難しいと思うが、民意を生かして頑張ってください。
- ② 「長崎の教会群」の世界遺産登録推進については、バチカン市国も応援すると言っていた。登録後、どうするつもりか。登録されると周りの地域は何も触れなくなり、市民が苦勞する。加津佐の前浜に施設をつくるより原城の入り口に駐車場や資料館、道の駅をつくるべき。また、今年できた有馬キリシタン遺産記念館はバスが通らないし、ほとんど人が行かない。

【回答】

①

(市長)

茂木航路の件は口之津港を再生利用して、ゆくゆくは茂木航路の可能性を秘めた整備をしていくということです。また、あと2年後には世界遺産に登録される可能性が大きく、その際に茂木航路の活用の可能性を秘めたものです。道路の件は議会でこれまでも協議しており、私も議員時代に言ってきました。実は今日も県と国土河川事務所に陳情に行ってきました。明日は振興局と県知事に陳情する予定です。また、11月10日～12日には国交省および県選出の国会議員に陳情に行きます。県央に向けての道路整備は絶対必要だという思いで進めています。

(建設部長)

半島の西回りの道路の件だと思います。深江～口之津間の候補路線は国に毎年陳情しているが、ここ数年進んでいません。現在の状態は異常で、地理的ハンディがあると言えます。道路整備は人口減少、企業誘致の根幹です。小浜～愛野間も3市で毎年、陳情しているが、地形が陰しく費用対効果の面も含め、国も頭を抱えています。国、県の事業なので継続して地元の声を届けていきます。

② 副市長

特に登録に伴う南有馬周辺への影響について、市民の皆さんに悪い影響がないよ

うにすることが行政の責務だと思っています。原城の入口に何か施設をという提案については、加津佐、深江の中間が南有馬なので、十分に検討します。今度は観光客が街中をウォーキングすることをベースに考えたいと思っており、商店街が寂れているので、商店街に人を引き込む政策を考えています。茂木航路については港湾の整備は県がやっており、高速船の営業主体がいないと事業が成り立たないのだが、実際、手を上げた業者がいます。メインは天草方面の営業のようだが、乗客数のマーケティングをやって県に計画を出しているので突破口になるかと思っています。口之津港の年間利用は、車両12万6,959台(県内第3位)、利用旅客数約33万人、ターミナルのバス利用44,200人と観光や輸送での利用が思ったより多いです。また、今後、国の支援で速度の速い船が就航予定であり、高速船が通ることによって、天草と世界遺産航路が繋がります。キリシタン遺産記念館については、想定より利用者が多いです。来月バチカン市国のユネスコ大使も訪問される予定で、今後、色んなところから注目される市になっていくと思っています。

2. 人口減少対策

【意見】

人口減少に関して子育て支援の件です。説明にあったように中学生までの医療費補助については、3回までが800円の個人負担、それ以上は無料となっているが、他自治体ではお金がまったくかからないところもあるので、支援を拡大してほしい。子どもを増やせというが、子育てにはお金がかかる。お金のかからない方向でお願いしたい。

保育料の3人目以降無料の制度は助かっている。私が住んでいる地区は子だくさんの家庭が多い。子育てのしやすい環境なのかなと思う。今、子供が少ないと言われるが、この地域は違うのかなと思う。機会があれば検証してみてください。

【回答】

(福祉保健部長)

中学生までの医療費補助は一月に1病院で1日最高800円、月で1,600円を限度として、超えた分を助成しています。中学生まで対象としているのは県内で松浦市、雲仙市と南島原市のみで、費用は市の自主財源で今年度、中学生のみで2,500万円かかる見込みです。どこまで医療費を負担していくのか議会でも質問がっております。仮に全額負担となると、新たに5,800万円の自主財源が必要となります。

国の基準では保育所の2人目は半額、3人目からは無料ですが、本市ではこれに上乗せして第3子以降をすこやか子育て支援として小学4年生まで枠を広げており、今後も継続していきたいと考えています。

(市長)

市内には結婚していない若者が多くいます。市ではこれまで農業委員会が農業後継者を対象に婚活事業をしていたが、対象を色々な職種に広げるよう進めているところですが。

3. 市政、公立幼稚園等のあり方、全国学力テスト

【意見】

- ① 新しく市長になられて今までの市長と違う点を3点挙げてください。
- ② 前市長は、任期中に公立の幼稚園保育園は無くさないと言われていた。市長はどう考えているか？
- ③ 全国学力テストの市の結果が良くない。今後、どうしていくつもりか。

【回答】

(市長)

- ① 3点挙げるのは難しいが、とにかく市の信頼を回復するために入札制度改革に取り組みたいと考えています。

- ② 公立の幼稚園保育園について、現段階では、無くさないという考えです。

(教育長)

- ③ 学力テストの結果については、実は前年度から比べると本年度は改善の方向です。長崎新聞によると、雲仙市と南島原市を比べると、小学校の成績は変わらないが、中学校の成績は南島原市の方が良いと書いてありました。私は学校での根幹は学力向上だと思っています。国語、算数だけではなく、生きる力、応用性の高い力を養成したいと考えています。長崎新聞によれば、南島原市の子どもは地域の行事に参加が多く、特に図書館活用率が高いとのこと。今後も学力向上のために ICTだけでなく、先生の教育力アップのため講座や、バランスある社会体育についても検討し、子どもが健やかに成長するための仕掛けに取り組んでいきたいと考えています。

4. 学校教育

【意見】

新聞協会でも NIE 教育を進めており、県内で11校が実践している。NIE 教育によって成績も人間性も向上していると聞く。南島原市は実践校に応募しないのか。

【回答】教育長

活字を活用した教育の有効性は認識しています。参考にします。

5. 市政

【意見】

市民からの市政への要望などを受け付けるシステムがないのか。

【回答】秘書広報課長

ホームページと各支所に市政へのご意見をお聞きする「市政への提案箱」を置いています。お気軽に投函してください。